

【World Architecture Festival Small Project of the Year受賞】
手塚建築研究所が設計・監理をしたオーベルジュ「風姿」が
World Architecture Festival The 2024 Small Project of the Year を受賞

手塚建築研究所(本社:東京都世田谷区、代表:手塚貴晴+手塚由比)が設計・監理をしたオーベルジュ「風姿」が、The 2024 Small Project of the Year Winner in World Architecture Festival (WAF)を受賞しました。



■ World Architecture Festival (WAF) について

The World Architecture Festival は、建築家やデザイナーにとって最も注目される世界的な賞の一つです。過去、ビャルケ・インゲルスや WOHA を輩出しています。今年は数千件を超えるプロジェクトの中から選定され、ファイナリストはシンガポールの マリーナベイ・サンズでプレゼンテーションを行い、今回、「風姿」が The 2024 Small Project of the Year Winner として、最優秀に選ばれました。

■ 「風姿」受賞 について

「Small Project of the Year」賞は、ジョニー・チウ氏(台湾 JC.Architecture & Design 創業者)、ミハエル・ヒーナン氏(オーストラリア AJC ディレクター)、ヘザー・ダベルダム氏(カナダ Dubbeldam Architecture + Design 創業者)によって審査されました。審査員からは、「このプロジェクトは、実験的な挑戦と様式的な形態とのバランスを巧みに表現した。」と評価されました。「なぜこの建築の内部はとても暗いのか？」などの質疑もあり、手塚貴晴は「光に対する日本の伝統的な考え方として、『陰翳礼讃』を彷彿とさせるような、間接的な光と影の体験を美しいとする考えがある。木漏れ日という日本語があるが、これは木々の葉の間から差し込む陽の光のことで、それによって人々は心が癒される。本プロジェクトは、この場所の光、風、風景、そして魂を繊細に表現するために様々な工夫を凝らして設計した。」と説明しました。

■ 風姿 概要

現代日本の風土と文化に伝えるべく、形式を超えた現代の和を目指しました。28 メートルの長い軒先には柱が一つもなく、視界を邪魔するものではありません。軒先の高さは床面から 1.5m。人の目線の高さで秋川渓谷を屏風絵として切り取ります。「暁」「宵」と名付けた二枚の襖絵は、渓谷に立ち込める夜明け前と日没後の一瞬の光を現わしています。中心の空間はあえて外部としました。深い軒下は自然との対話を促します。雪を愛で、夏の谷風を聴く。新緑を愉しみ、紅葉を嗜む。この場では雨や雪も風情となります。風姿の他画像、スケッチなどはこちら(<http://www.tezuka-arch.com/fushi/>)から確認できます。



Photo by Kida Katsuhisa FOTOTECA

■手塚建築研究所今後の展望——時を超えて。手塚貴晴＋手塚由比より

時を超えることは難しい。日本史という長い大河の中には、足掛かりの岩のように数々の名建築が散りばめられていて道筋を作っています。一方世の中には無数の川石がなす術もなく川底を転ばされ消えゆくように、世の中の建築の大半は壊される運命にあります。特に戦後の日本においてその傾向は激しく、今世の文化を後世へと伝えるべく生きながらえる建築は極めて稀有であると言えます。それを経済原理であるとして片付ける事は容易ですが、その困難をのり超えて生き残る術もあるのではないかと模索しています。大切な事は、時代に左右されず過去から未来も価値を失わない文化とは何かを判断する見識をつける事だと思っています。今や構造的に壊れない建築を作ることは簡単です。構造力学を駆使し正しい工法を選べば自ずと剛い構造物は生まれます。それにも関わらず殆どの建築が半世紀を時を経ずして取り壊されるのは、物理的な業(ゴウ)とみなす以上の理由があります。その手掛かりは文化にあります。人は必ずしも合理的であったり丈夫であったりするものを求めません。重く歪んで割れやすい茶碗を大切に愛でる現象はその典型です。人は物としての存在を超え、その先にある心を求めます。その心とは時折移ろいゆくひと時でもあり、語り部が伝える叙事詩でもあります。その深い造詣に裏打ちされているのが日本文化だと思います。過去に囚われず未来に溺れず時を超える。そういう建築を模索したいと思っています。

■手塚建築研究所 概要

OECD(経済開発協力機構)とUNESCOにより世界で最も優れた学校に選ばれた「ふじようちえん」や、「渋谷東急プラザ本店フクラス」などの大型建築物、「新島の森」「ジャズクラブthe moment」などの特殊音響、小児がんセンターなどの病院建築なども手掛ける。その他の代表作に「屋根の家」「あさひ幼稚園」「空の森クリニック」「むく保育園」など。世界環境建築賞 Global Award for Sustainable Architecture、World Architecture Festival受賞。国内では日本建築学会賞、日本建築家協会賞、グッドデザイン金賞、こども環境学会賞など受賞。手塚貴晴が行ったTEDトークの再生回数は2015年の世界7位を記録。

株式会社	手塚建築研究所	■報道、メディア関係者様ご連絡先
創業年月	1994年	手塚建築研究所PR担当 内海：
代表者	手塚貴晴 ・ 手塚由比	utsumi.k@mokuren.consulting
住所	〒158-0082 東京都世田谷区 等々力1-19-9-3F	■手塚建築研究所へのお問い合わせ
URL	http://www.tezuka-arch.com/	手塚建築研究所 TEL 03-3703-7056 Email tez@sepia.ocn.ne.jp